

園藝曆 (十二月 師走)

大岩金

氣節 大雪 八日頃
冬至 二十三日頃

觀賞

外の畑は黄菊、白菊の寒菊のみが霜にも屈せず元氣よく咲いて居りますが、他の大方は冬枯となつて見るかげもなくなりました。霜除下の一本、二本、花を残した金魚草も今となつては一段と目につくやうになりました。これからはフレイム、温室の時期に入るのであります。即ち年末年始用の猩々木を始めプリムラ類、カーネーション、ベゴニアシクラメン、百合、バラ、水仙などはその主なものであります。

木物では山茶花、ウメモドキ、マサキ、千両、ヤブコウジなどが見時であり垣根のピラガンサスの赤い實も縁紅一點の感が味はれます。

仕事

一、防寒、防霜

防寒、防霜が第一の仕事であります。鉢植のものは鉢のわれないうちに土に埋めてやりませう。その外夫々に藁をかかけたり糠殻を敷いたり籾を用ふるなど適當の方法を致しませう。

二、冬耕

秋草の後片付をして大方の畑は空いて居りますから今のうちに充分に耕し基肥も入れておきませう。基肥には骨粉魚肥油粕等をそのまゝ畑一面にまき散らして土と一所に耕し込んでおけばよいのであります。

三、その他の仕事

害虫の卵をとること肥料の調製腐葉土の切返しなど行ひますことは一月、二月において行ひます方法と同じでありますからこゝには省略する事と致します。